

会議要旨

会議の名称	第2回川越市子どもサポート本部会議
開催日時	令和5年7月19日(水) 午後6時00分～7時45分
開催場所	川越市大東市民センター
議長氏名	遠藤克弥(東京国際大学) (進行:大牟田副課長)
出席者	村上重仁(小学校長会)、築嶋秀幸(P T A連合会)、松本紀美子(子ども会育成団体連絡協議会)、佐藤保雄(自治会連合会)、遠藤克弥(東京国際大学)、谷川輝之(中央地区サポート委員会)、奈良明英(中央南地区サポート委員会)、山下由利子(芳野地区サポート委員会)、小川浄(古谷地区サポート委員会)、田中幸二(南古谷地区サポート委員会)、斉藤修(高階地区サポート委員会)、戸守宏明(福原地区サポート委員会)、山田幸次(大東地区サポート委員会)、小峰肇(霞ヶ関地区サポート委員会)、井川一行(川鶴地区サポート委員会)、美代川幸雄(名細地区サポート委員会)、中島利一(山田地区サポート委員会)、岡田賢治(博物館長) 計18名
欠席者	吉田基(中学校長会)、山下正雄(青少年を育てる市民会議)、鈴木誠(中央北地区サポート委員会)、金子晃(霞ヶ関北地区サポート委員会)、中里良明(中央公民館長)、富田稔(中央図書館長) 計6名
事務局職員	武藤地域教育支援課長、大牟田副課長、金田指導主事、小池主任、小野寺主事、吉田社会教育指導員
傍聴者	なし
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 報告・確認事項</p> <p>(1) 川越子どもサポート発表会の発表地区について →令和5年度は、山田地区と中央北地区の2地区にお願いしたい。</p> <p>(2) 令和5年度「川越子どもサポート発表会」について(組織・プログラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域教育支援課の記録に協力していただける地域について (資料1) ・受賞者数について (資料2) ・展示会準備について (資料3) <p>4 協議事項</p> <p>(1) アンケート結果の報告及び、専門部会の設置について (資料4・5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果をうけて →「子どもサポート発表会」「小江戸見つけ隊」「学校との関わり方」「コミュニティ・スクールとの関わり」について、検討していく。 ・日程 3回程度を予定 <p>(2) 各地区情報交換 活動報告→質疑応答→情報共有したいこと</p>

	<p>5 連絡事項</p> <p>○今後の本部会議について</p> <p>第3回 本部会議 1月10日(水)</p> <p>第4回 本部会議 2月22日(木)</p> <p>※第4回本部会議の曜日が金曜日になっていましたが、木曜日の誤りです。訂正をお願いします。</p> <p>○その他</p> <p>6 閉会</p>
<p>配付資料</p>	<p>資料1 令和5年度川越子どもサポート発表会実行委員会組織 令和5年度「川越子どもサポート発表会」プログラム</p> <p>資料2 令和5年度子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」受賞者数について</p> <p>資料3 令和5年度展示関連 子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」作品展示会全作品展示会役割分担(案)</p> <p>資料4 川越市子どもサポート本部会議運営要綱</p> <p>資料5 子どもサポート事業アンケート集計結果(学校関係者・子どもサポート委員)</p>

会 議 録

<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 報告・確認事項</p> <p>(1) 川越子どもサポート発表会の発表地区について →令和5年度は、山田地区と中央北地区の2地区にお願いしたい。⇒承認</p> <p>(2) 令和5年度「川越子どもサポート発表会」について(組織・プログラム) ⇒審査部会 審査の日程について資料の通り確認した。審査会の期日の候補日として、10月24日(火)、11月2日(木)、10月20日(金)、10月25日(水)を考えているので、本部会議後に審査部会のメンバーで集まって相談したが、審査部会のメンバーが4名欠席だったため、11月2日(木)、10月20日(金)、10月25日(水)のいずれかで、期日の調整を進めることになった。 時間は15:00~17:00を予定。 ⇒運営部会 前回全て確認済み。 ⇒展示部会 受付割り振り案で都合が悪い場合は、委員同士で調整する。</p>
--

⇒プログラムについて

スライドショーは地域教育支援課で作成する。地区ごとではなく、内容の種類ごとにスライドを編集する。動画撮影にも協力してほしい。

表彰は入選者全員対象にする。

ステージの撤収は12:00厳守。

(3) 令和5年度子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」について

- ・出品数について⇒各学校でふるさと学習の成果として作品を大量に出品する場合は、事前に地域教育支援課に相談するように定例校長会で説明した。
(展示スペースに限りがあるため)
- ・受賞者数について⇒例年と同じ人数。中学生の受賞については、「絵画・作文・新聞で2つ」に変更。
- ・展示会準備について⇒2月14日(水)と15日(木)の準備分担は、各地区2名を原則とする。黄色のFAX送信用紙で報告する。1日目はピーポート入れ作業と一部展示作業、2日目は午前には展示作業完了させ、午後は入選作品展示作業の予定。

4 協議事項

(1) アンケート結果の報告及び、専門部会の設置について

- ・アンケート結果をうけて
→「子どもサポート発表会」「小江戸見つけ隊」「学校との関わり方」「コミュニティ・スクールとの関わり」について、検討していく。
- ・日程 3回程度を予定

⇒事務局と本部長、副本部長で論点整理を行い議論の方向性を決めたいうえで、10月から専門部会を立ち上げる。日程は、事務局が本部長と相談して決定し、本部会議の委員全員に開催の事務連絡を送付する。

(2) 各地区情報交換

活動報告→質疑応答→情報共有したいこと

- ⇒中央 委員長1年目、3日間の夏休み子ども教室で勉強と遊び、「すくすくかわごえ」を会場にポッチャ教室
- ⇒中央南 学校からの申請を受けて9月から活動、保護者+ボランティアで活動、保護者からのボランティア協力を増やす
- ⇒芳野 2日間寺子屋、全学年対象60名くらい、お楽しみでゲーム、秋にはスポーツフェスティバル綱引き
- ⇒南古谷 5月田植え、7月子どもサミットをオンラインで実施、小学生が地域の活性化という発言、秋は稲刈り、収穫祭ができればよい
- ⇒高階 10月ファミリーコンサート、1月武蔵野ふれあいの森コンサート、学校応援団活動も検討

- ⇒福原 あいさつ運動を月2回、夏休み勉強会、視察研修、サポート委員のメンバーはPTA兼務が多く忙しい、今年は福原小150周年で役職が重なっていて特に忙しい、11月子どもまつりで新しい企画
- ⇒大東 8月26日に子どもフェスティバル、7月26日と27日に寺子屋18名、学校支援事業、学校の働き方改革のために地域に力を貸してほしいというのは違う、子どものためにあるサポート委員会
- ⇒霞ヶ関 田植えをサツマイモに変更、持久走大会、公園探検、凧あげ
- ⇒川鶴 9月2日に防災デイキャンプ、学区外の児童・生徒が多い
- ⇒名細 親に対する事業として講演会81名、他地区からも参加、配布した資料はコピーして配っても構わないので活用してほしい、子どもに対する事業として東洋大学敷地内の探検、ここ数年性教育を取り上げているので子どもサポートだよりにコラムとして連載
- 山田⇒ 年度当初1年生下校見守り、田植えができなかったが、稲刈りのみ実施予定、藍染め、ホタル飼育、まが玉作り

5 連絡事項

○今後の本部会議について

第3回 本部会議 1月10日(水)

第4回 本部会議 2月22日(木)

※第4回本部会議の曜日が金曜日になっていましたが、木曜日の誤りです。訂正をお願いします。

⇒場所は未定、開催通知で確認

⇒小江戸見つけ隊審査会、サポート発表会のリハーサル、小江戸見つけ隊受付についての事務連絡は後日送付

○その他⇒特になし

6 閉会